

「新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者の資金繰りに関する緊急アンケート」報告書

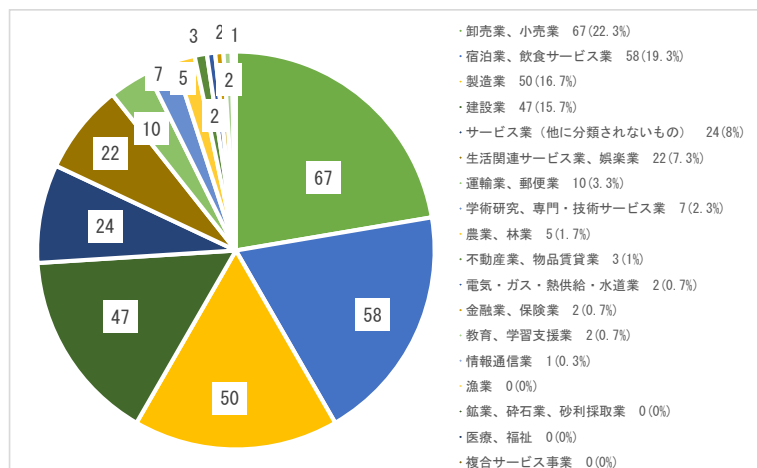
調査概要について

目的	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小・小規模事業者は、コロナ関連融資及び施策等の活用により、事業を継続している。</p> <p>未だ終息を見せない厳しい状況下で年末・年度末を迎えるにあたり、資金繰りが喫緊の課題となることが考えられる。</p> <p>本調査は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小・小規模事業者の資金繰りについて、現状把握を目的とし、今後実施すべき支援策の検討及び行政等関係各方面への新たな支援施策要望の資料とするため、アンケート調査を実施した。</p>
調査対象	<p>岡山县内 20 商工会の管内事業者の内、次の施策を利用した 300 事業者</p> <p>①新型コロナウイルス対策マル経融資を利用した事業者【コロナマル経】</p> <p>②新型コロナウイルス感染症特別貸付を利用した事業者【コロナ特貸】</p> <p>③岡山県融資制度「新型コロナウイルス感染症対応資金」</p> <p>④給付金(持続化給付金、家賃支援給付金)</p>
調査期間	令和 2 年 11 月 5 日～11 月 18 日
調査方法	面接調査、郵送調査、電話調査

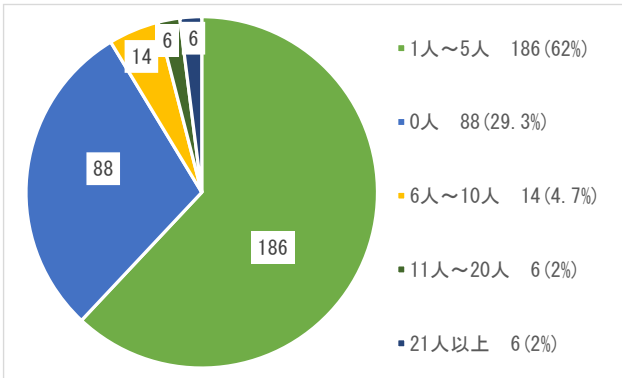
1 回答事業者の概要について

- ・ 回答事業者の業種は「卸売業、小売業」が 22.3%
- ・ 回答事業者の従業員規模は「1 人～5 人」が 62.0%
- ・ 回答事業者の売上規模は「1,000 万円以上 3,000 万円未満」が 37.0%

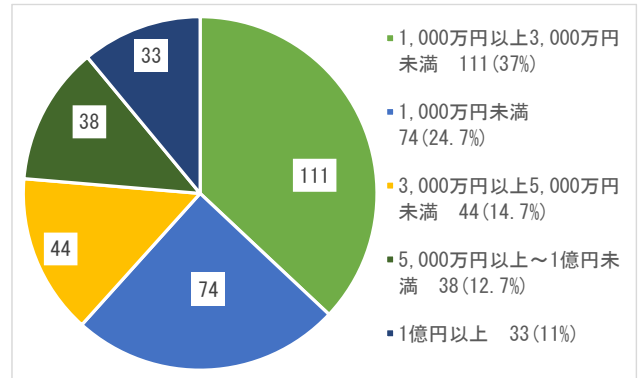
■ 回答事業者の業種



■ 回答事業者の従業員数



■ 回答事業者の令和元年度（直近）の売上高

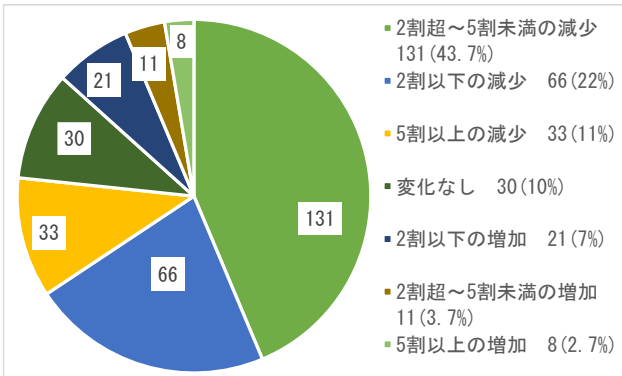


2 経営状況について

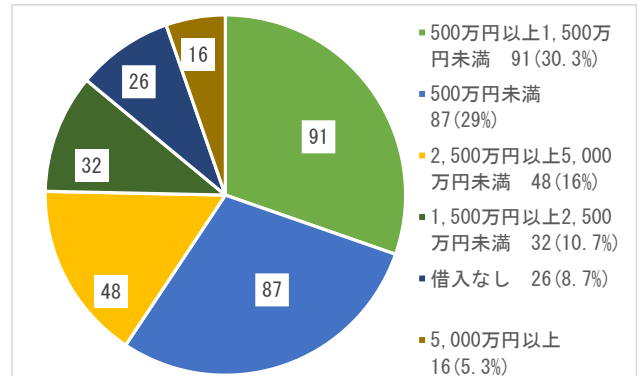
- ・ 76.7%が前年同月比で「前年同月より売上が減少した」と回答
- ・ 「500万円以上1,500万円未満の借入」が30.3%で最多
- ・ 「資金繰りに不安がある」が60.3%
- ・ 75.3%が「追加融資の予定なし」
- ・ 使った支援策は「持続化給付金」が最多。次いで、「各市町村施策」

1) 単純集計

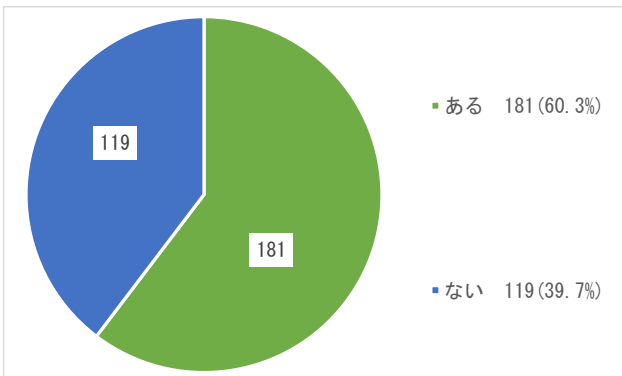
■ 前期と比した今期の売上増減割合



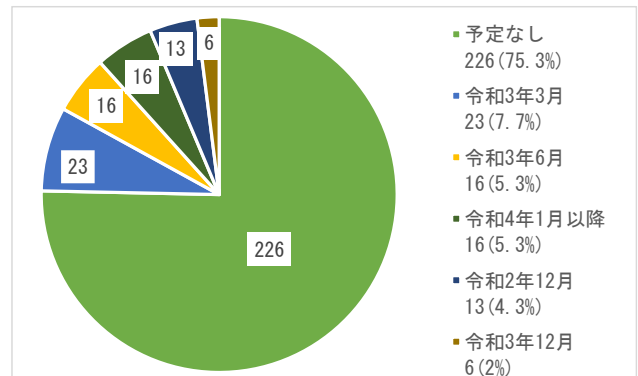
■ 借入総額はどのくらいになったか



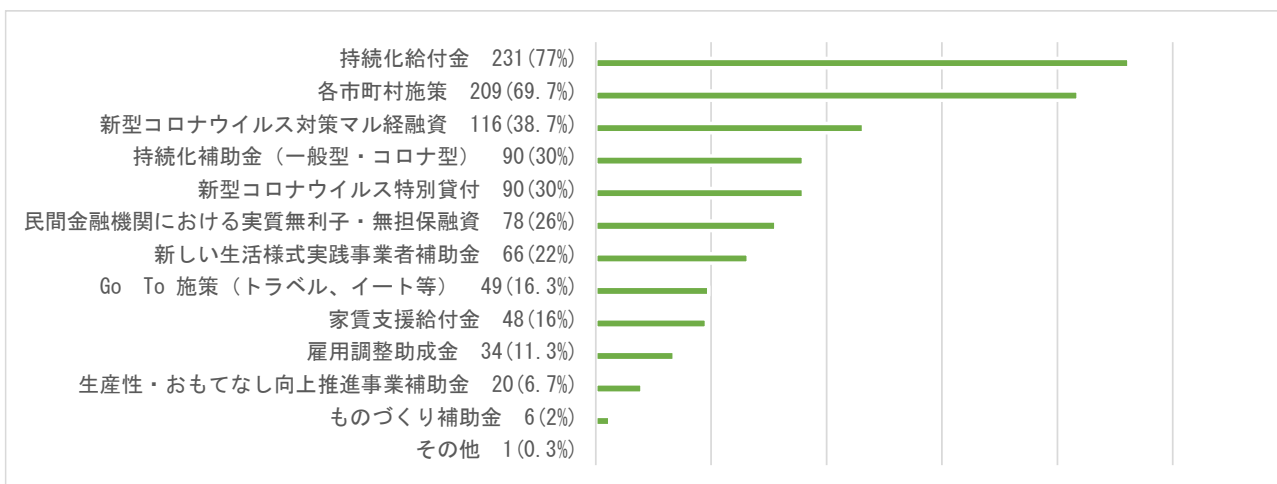
■ 資金繰りに不安があるか



■ いつごろ追加融資を受ける予定か



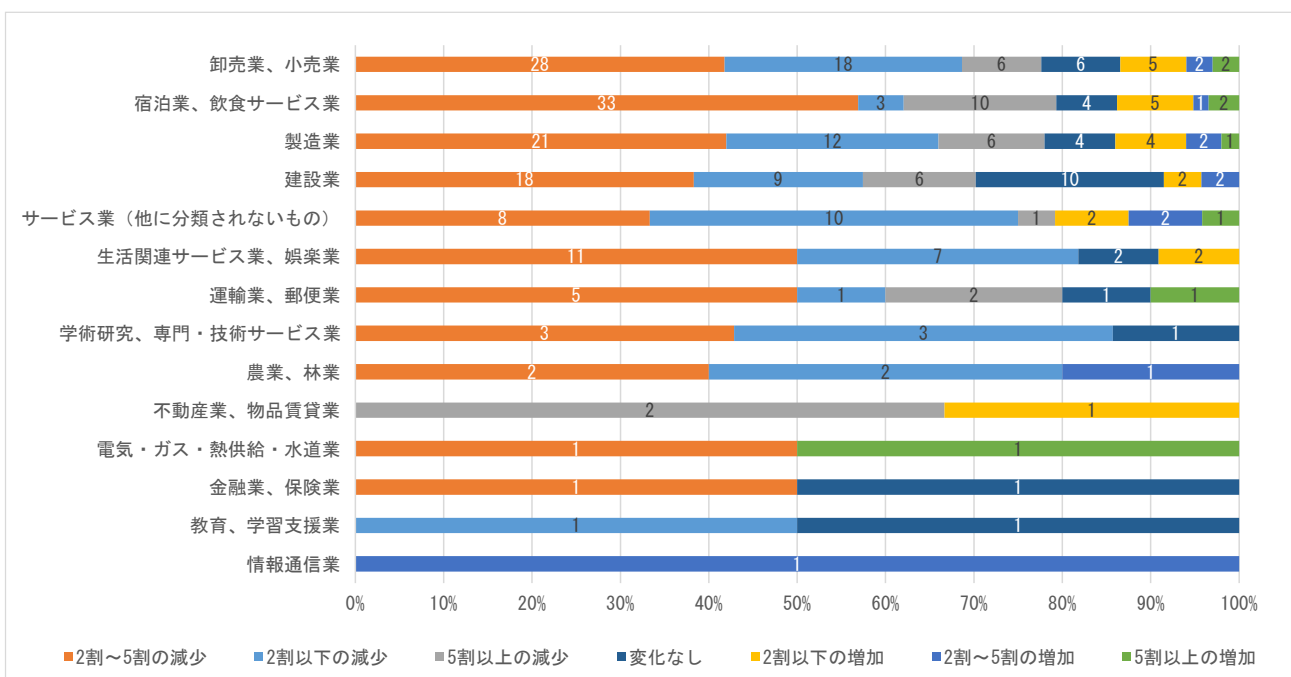
■ 利用した施策（複数回答、申請中含む）



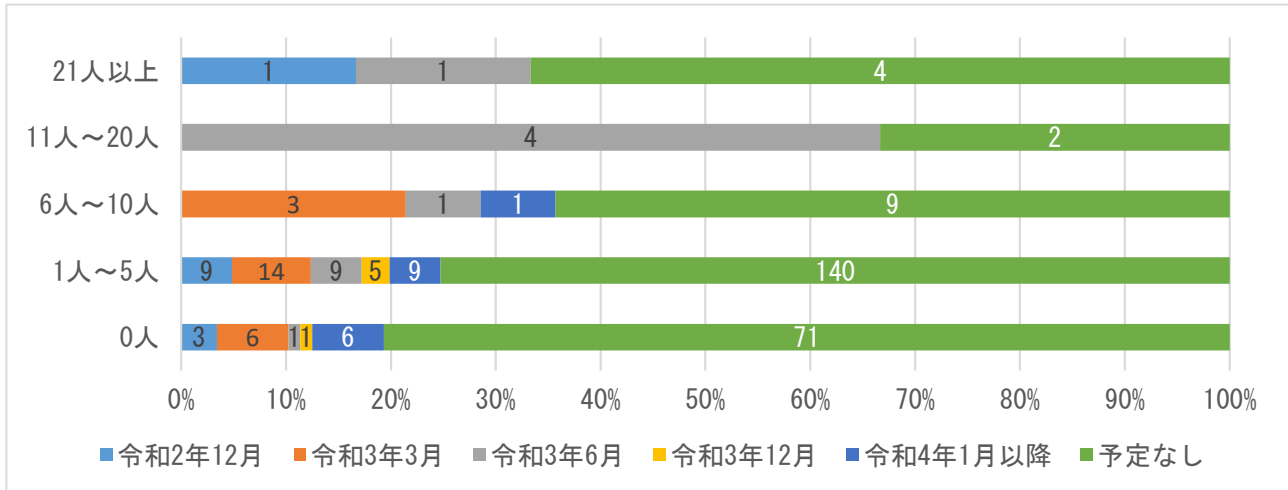
2) クロス集計

- ・ ほぼ全ての業種で、半数以上の事業者が前年同月比で売上減少
- ・ 従業員規模が小さいほど追加融資の予定がない

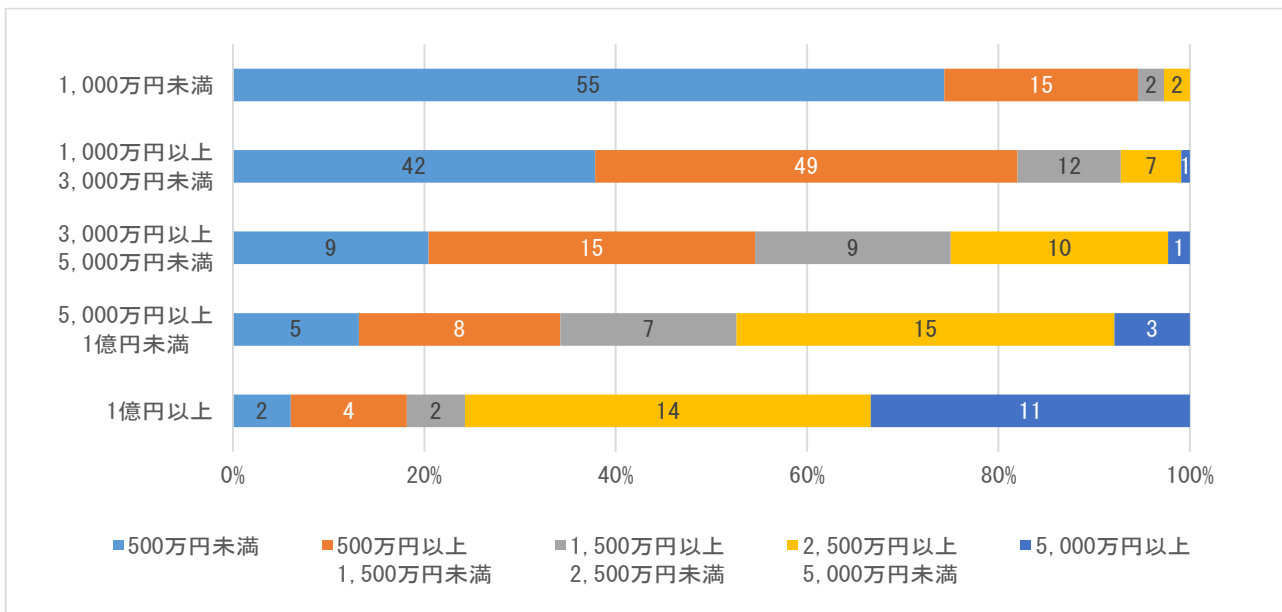
■ 業種別売上の増減割合



■従業員規模別追加融資予定



■売上規模別借入総額



		借入総額				
		500万円未満	500万円以上1,500万円未満	1,500万円以上2,500万円未満	2,500万円以上5,000万円未満	5,000万円以上
売上	1,000万円未満	55	15	2	2	0
	1,000万円以上3,000万円未満	42	49	12	7	1
	3,000万円以上5,000万円未満	9	15	9	10	1
	5,000万円以上1億円未満	5	8	7	15	3
	1億円以上	2	4	2	14	11

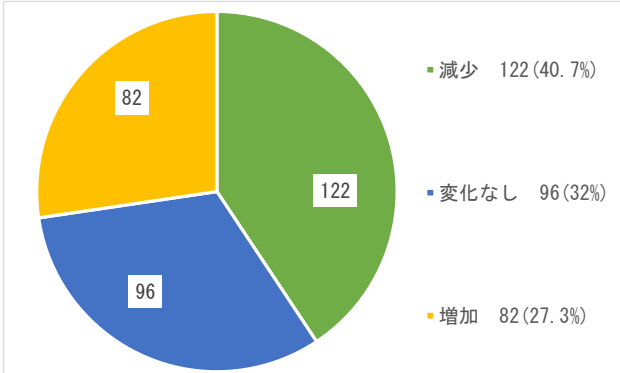
■■■■■■ ・ ・ ・ 借入金の負担が大きくなっており、資金繰りに注意が必要な事業所

3 今後の見通しについて

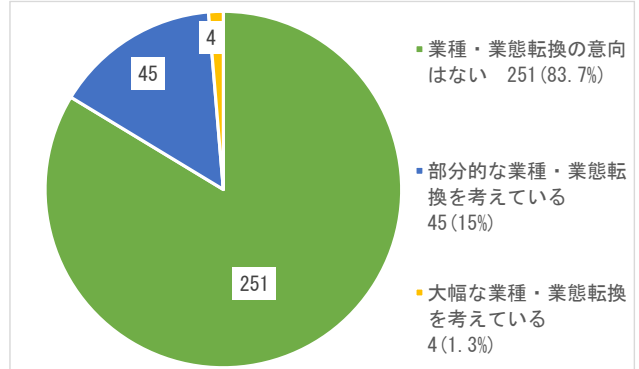
- ・ 40.7%が「R2. 11月～R3. 1月はR2. 8月～10月より売上が減少する」と回答
- ・ 必要とされる支援策は「補助金・助成金の創設」が最多、次いで「税制優遇策」
- ・ 「業種・業態転換を検討している」と回答した事業者が16.3%
- ・ 従業員数規模が大きいほど業態転換を検討している割合が増加傾向

1) 単純集計

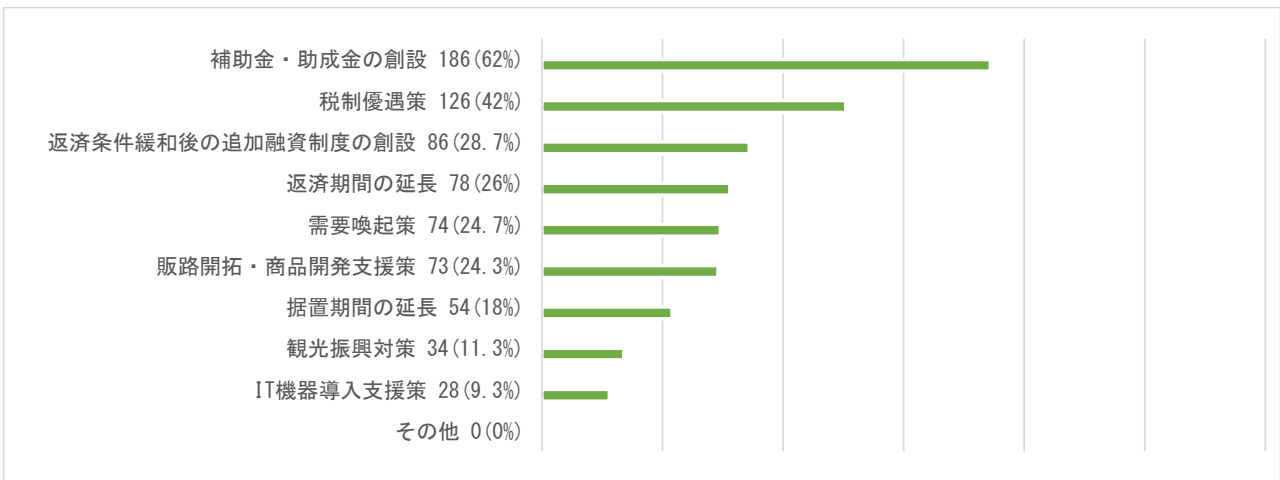
■ 来期の売上見通し



■ 業種・業態転換について

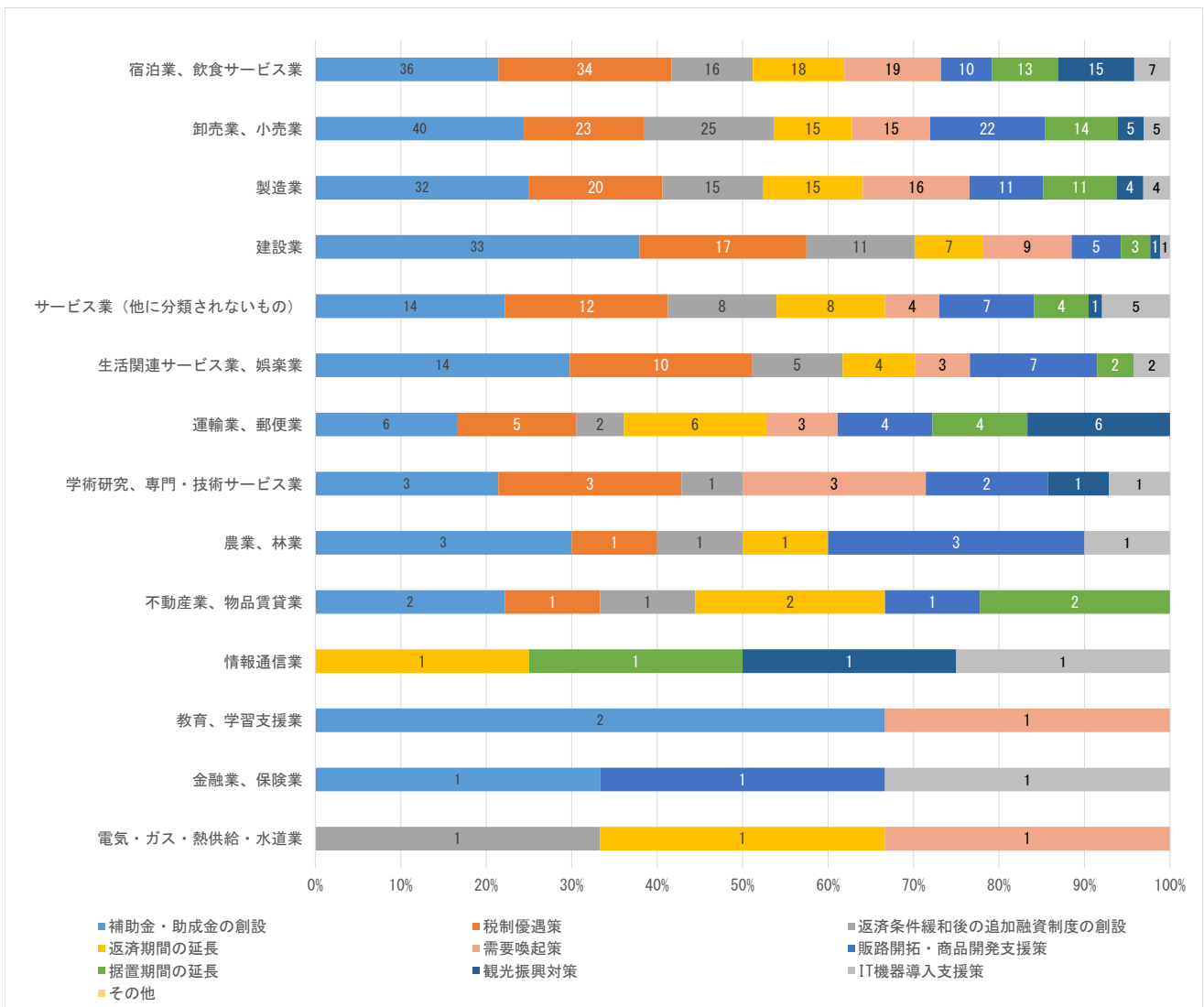


■ 必要とされる支援施策（複数回答）

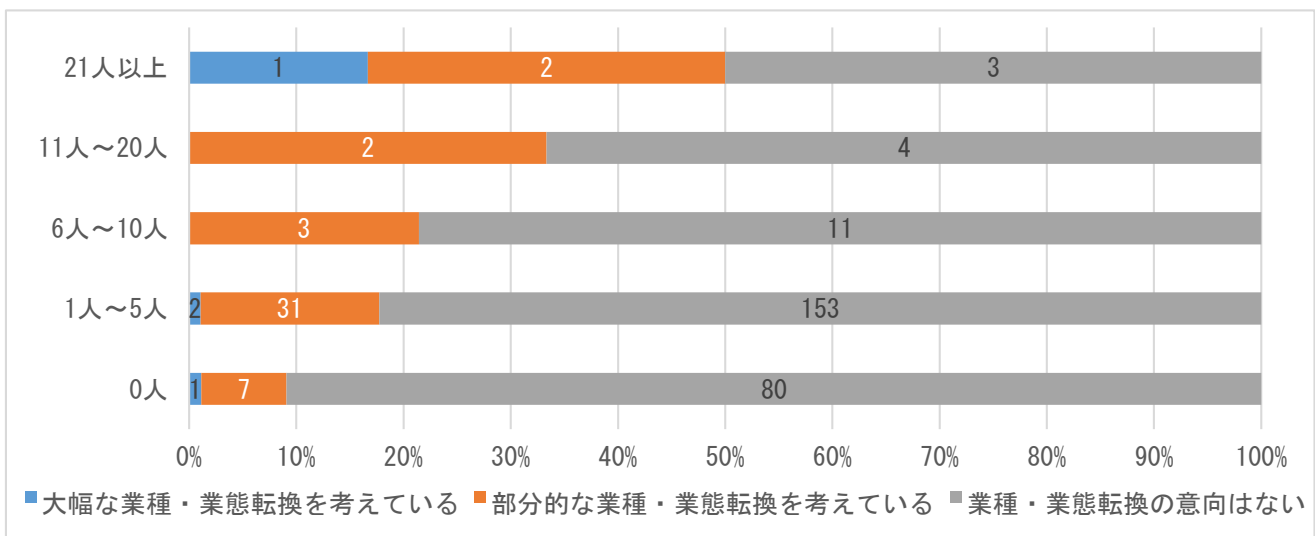


2) クロス集計

■業種別経営上の問題・経営課題に対して必要とされる支援施策（複数回答）



■従業員規模別業態転換の意向



1. 貴社の概要についてうかがいます

(1) 貴社の業種について該当するものを一つ選択ください。複数該当する場合は主要業種を選択ください。

1 卸売業、小売業	67(22.3%)	67	22.3%
2 宿泊業、飲食サービス業	58(19.3%)	58	19.3%
3 製造業	50(16.7%)	50	16.7%
4 建設業	47(15.7%)	47	15.7%
5 サービス業（他に分類されないもの）	24	24	8.0%
6 生活関連サービス業、娯楽業	22(7.3%)	22	7.3%
7 運輸業、郵便業	10(3.3%)	10	3.3%
8 学術研究、専門・技術サービス業	7(2.3%)	7	2.3%
9 農業、林業	5(1.7%)	5	1.7%
10 不動産業、物品賃貸業	3(1%)	3	1.0%
11 電気・ガス・熱供給・水道業	2(0.7%)	2	0.7%
12 金融業、保険業	2(0.7%)	2	0.7%
13 教育、学習支援業	2(0.7%)	2	0.7%
14 情報通信業	1(0.3%)	1	0.3%
15 漁業	0(0%)	0	0.0%
16 鉱業、碎石業、砂利採取業	0(0%)	0	0.0%
17 医療、福祉	0(0%)	0	0.0%
18 複合サービス事業	0(0%)	0	0.0%

(2) 従業員数について該当するものを選択ください。個人事業主、会社役員、パート労働者は除きます。

1 1人～5人	186(62%)	186	62.0%
2 0人	88(29.3%)	88	29.3%
3 6人～10人	14(4.7%)	14	4.7%
4 11人～20人	6(2%)	6	2.0%
5 21人以上	6(2%)	6	2.0%

(3) 令和元年度（直近）の決算期の売上高について該当するものを選択ください。

1 1,000万円以上3,000万円未満	111(37%)	111	37.0%
2 1,000万円未満	74(24.7%)	74	24.7%
3 3,000万円以上5,000万円未満	44(14.7%)	44	14.7%
4 5,000万円以上～1億円未満	38(12.7%)	38	12.7%
5 1億円以上	33(11%)	33	11.0%

2. 経営の状況についてうかがいます

(1) 売上に関して、前期（R1.8月～10月）と比べた今期（R2.8月～10月）の増減割合について該当するものを選択ください。

1 2割超～5割未満の減少	131(43.7%)	131	43.7%
2 2割以下の減少	66(22%)	66	22.0%
3 5割以上の減少	33(11%)	33	11.0%
4 変化なし	30(10%)	30	10.0%
5 2割以下の増加	21(7%)	21	7.0%
6 2割超～5割未満の増加	11(3.7%)	11	3.7%
7 5割以上の増加	8(2.7%)	8	2.7%

(2) 中小企業向け資金繰り支援（コロナ関連融資）を受けて借入総額はどのくらいになったか該当するものを選択してください。

1 500万円以上1,500万円未満	91(30.3%)	91	30.3%
2 500万円未満	87(29%)	87	29.0%
3 2,500万円以上5,000万円未満	48(16%)	48	16.0%
4 1,500万円以上2,500万円未満	32(10.7%)	32	10.7%
5 借入なし	26(8.7%)	26	8.7%
6 5,000万円以上	16(5.3%)	16	5.3%

(3) 現在、資金繰りに不安があるか該当するものを選択してください。

1 ある	181(60.3%)	181	60.3%
2 ない	119(39.7%)	119	39.7%

(4) 今後、追加融資を受ける場合、いつごろを予定しているか該当するものを選択してください。

1 予定なし	226(75.3%)	226	75.3%
2 令和3年3月	23(7.7%)	23	7.7%
3 令和3年6月	16(5.3%)	16	5.3%
4 令和4年1月以降	16(5.3%)	16	5.3%
5 令和2年12月	13(4.3%)	13	4.3%
6 令和3年12月	6(2%)	6	2.0%

(5) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、利用した施策について該当するものを選択ください。（申請中含む）（複数回答可）

1 持続化給付金	231	77.0%
2 各市町村施策	209	69.7%
3 新型コロナウイルス対策マル経融資	116	38.7%
4 持続化補助金（一般型・コロナ型）	90	30.0%
5 新型コロナウイルス特別貸付	90	30.0%
6 民間金融機関における実質無利子・無担保融資	78	26.0%
7 新しい生活様式実践事業者補助金	66	22.0%
8 Go To 施策（トラベル、イート等）	49	16.3%
9 家賃支援給付金	48	16.0%
10 雇用調整助成金	34	11.3%
11 生産性・おもてなし向上推進事業補助金	20	6.7%
12 ものづくり補助金	6	2.0%
13 その他	1	0.3%

3. 今後の見通しについてうかがいます

(1) 売上高に関して、今期（R2.8月～10月）と比べた来期（R2.11月～R3.1月）の見通しについて、該当するものを選択してください。

1 減少	122(40.7%)	122	40.7%
2 変化なし	96(32%)	96	32.0%
3 増加	82(27.3%)	82	27.3%

(2) 経営上の問題・経営課題に対して必要とされる支援施策について該当するものを選択ください。（複数回答可）

1 補助金・助成金の創設	186	62.0%
2 税制優遇策	126	42.0%
3 返済条件緩和後の追加融資制度の創設	86	28.7%
4 返済期間の延長	78	26.0%
5 需要喚起策	74	24.7%
6 販路開拓・商品開発支援策	73	24.3%
7 据置期間の延長	54	18.0%
8 観光振興対策	34	11.3%
9 IT機器導入支援策	28	9.3%
10 その他	0	0.0%

(3) 業種・業態転換について該当するものを選択ください。

1 業種・業態転換の意向はない	251(83.7%)	251	83.7%
2 部分的な業種・業態転換を考えている	45(15%)	45	15.0%
3 大幅な業種・業態転換を考えている	4(1.3%)	4	1.3%